

## 平成25年度第2回大分県行財政改革推進委員会 副知事あいさつ要旨

本日は、たいへんご多忙の折、本年度第2回の行財政改革推進委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の議題は、大分県行財政高度化指針の進捗状況などを予定しておりますので、まず、ご報告いたします。

その内容についてでございますけれども、大分県行財政高度化指針の実行初年度である平成24年度の一般会計の決算につきましては、豪雨災害によります災害対応、あるいはまた、国の緊急経済対策の積極的な受け入れ等もございまして、財政調整用基金残高については、平成24年度434億円ということで、23年度が455億円でしたから、21億円ほど減少しております。

また一方、県債残高につきましては、これも豪雨災害等の対応で、23年度の1兆418億円から199億円増加いたしまして、1兆617億円となっております。しかしながら、この中に交付税の振り替わりである臨時財政対策債が含まれておりますので、それを除きますと実質的な県債残高というのは、80億円減少いたしまして、7,492億円ということで、11年連続で着実に減少しているところでございます。

また、財政運営の良否を判断するポイントでございます実質収支、収支の黒字か赤字かということでございますが、これについても歳入の確保、あるいはまた歳出削減に鋭意努めた結果、23億7,900万円の黒字となったところでございます。

また二点目が、消費税率の引上げについてでございます。後の報告事項としても取り上げておりますけれども、政府は景気動向等を判断した上で、10月1日の閣議において、消費税率の引上げの決定をしたところでございます。

引上げによる増収分の一部というのは、地方交付税、あるいは地方消費税を通じて社会保障、あるいは少子化対策の地方の財源となりますけれども、この消費税というのはやはり駆け込み消費があっておりますように、景気をマイナスに導く可能性も十分ございます。

景気の下振れを防ぐ対策ということも、今後、政府も一体的に取り組んでい

こうといたしておりますけれども、県としても鋭意、努めてまいりたいと思っております。

三点目が、国の財政健全化の動きでございます。これも今後の県の財政運営を考えますときに、たいへん地方としては気になるところでございます。

消費税率の引上げ決定前の公表ではございますけれども、国は中期財政計画というのを発表しております。この中で、平成32年度の黒字化の実現に向けては、基礎的財政収支の改善に向けて積極的に取り組むといたしております。

この財政収支というのは、政策に必要な経費というのを税収など借金以外の収入で賄いきれるかどうか、いわゆる借金に依存せずに行行政サービスを賄いきれるかどうかという、健全化の一里塚とも言える指標でございます。

これが、国・地方を通じて、この赤字幅が平成25年で約34兆円ございます。これを平成26年から27年度にかけて半減して、約17億円ほど減らしていこうということの取組を掲げております。

この点で地方にとってどういうふうに影響してくるかというのがたいへん気になるところでございます。特に地方財政に関しましては、地方の一般財源総額というのが、いつも議論になっておるところでございます。これを25年度の地方財政計画の収入を下回らないということを前提にいたしておりますけれども、一方で景気がだんだん回復してきておりました。リーマンショック後の危機対応モードとして、その時に緊急的に設けられた1兆5千億円の歳出特別枠というのがございまして、この見直しということも当然、健全化の一環として示されておりました。これがどうなってくるかというのが予断を許さないところでございます。

これから本格化してきます26年度予算編成におきましても国の動向等を十分注意しながら、知事会などを通じて必要な財源の確保ということを図ってまいりたいと考えております。

さて、本日の議題でございますけれども、冒頭に述べましたが、大分県行財政高度化指針の進捗状況、これがどうなっているか、それから指定管理者の評価結果というのが出ておりますので、この二点を議題として、併せて消費税の引上げ、社会保障制度改革の動向をご報告をする予定になっております。

まず、大分県行財政高度化指針の進捗状況につきましては、指針で示しております方向に向かって取組が着実に進められているかが一点。それからまた、社会経済情勢、あるいはまた国の政策の変化に対応しながら、県民中心の県政というのが実現できているかどうか。それからまたあわせて、持続可能な行財政基盤の強化につながっているかどうかということも皆様のご意見をお伺いをしたいと思っております。

また、指定管理者の評価結果につきましても、評価部会でたいへんご尽力いただきまして、指定管理者の運営状況の評価をいただいております。この評価結果に基づきまして部会長さんからご報告をいただきまして、また議論を深めてまいりたいと思っております。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。